

戦より平和は良けれ

好評発売中

戦争を知らないあなたに

戦後60年 平和への祈り 語り継ぐ戦時体験

山形新聞
平成18年6月22日に掲載

県老人クラブ連合会（小野栄二郎会長）は、県内の戦争体験者の手記をまとめた「戦より平和は良けれ 戦争を知らないあなたに」を発刊した。戦争をじかに体験した世代が減っている中、「悲惨な体験を語り継ぎ、命と平和の大切さを伝えるのが高齢者の責務」として、厳しい時代を生き抜いた157人が思いをつづっている。



県内の高齢者の手記をまとめた戦争体験集「戦より平和は良けれ」

県老人クラブ連合会 手記まとめ出版

戦争体験「伝える責務」

旧満州の山中で逃げ回る中、
幼い妹2人は息絶え、
生後間もない弟は泣き声が迷惑だからと
生きたまま滝に投げ落とされた……。

歴史の証人たちがペンを執った

この文集は、戦場にいった人たちや、銃後を守った人々が、重い過去を背負って、ようやくペンを執った。

「戦争はむごい。戦には正義もなければ、勝者もない。平和が第一」。
とつとつと述べる語り口には、生命を得た体験者でなければ書けない説得力がある。

平和な時代だからこそ、この証言は、語り継がなければならない。

遙かな日のつどい
代表 八島 信雄

- 第1章 出征一家族との別れ
- 第2章 戦中の学童・生徒一戦時下の子ども
- 第3章 戦時統制下の暮らし
- 第4章 銃後の守りと空襲
- 第5章 男たちは戦地で
- 第6章 遠く祖国と家族への想い
- 第7章 終戦の年
- 第8章 抑留生活と引き揚げ
- 第9章 平和への祈り



規格 A5判・表紙カラー刷り
本文モノクロ1色刷り 526ページ

頒布価格 (税込) **1,800円**



出撃前、自宅上空を旋回する兄に
日の丸の旗を振り涙を流した父親の姿……。

157人が平和願う

を書いた。幼い妹二人がの姿、マシーン機で
母親の背中で息絶え、生 緒に県民の歌「最中」
後間もない弟は、泣き声 を歌った同郷の戦友死
が迷惑だから生きたま なく、それぞれの体験が
ま滝に投げ落とされた。戦争の悲惨さをま
「滝つぼの白濁で浅黄の まな角度から映し出し
着物を着ていながら、浮 いては泣き込んで深く
さまを私は一生を返してはならない」と
とほでませんと記し 平和への願いを込めて
いる。

七十代の男性は、志願 記書業として初め全
兵の身体検査で不合格 となり、駭かす思い、画 事務局長は「思い出し
をたが、入隊予定の部 ないという思いから、長
隊は空襲で全滅、もう く口をうべんできた人も
す、ひ孫が生れます。 生きていてよかったと 多い、体験者が高齢化し
いう気持ちでいっぱい 版で受けるのは最後かもし
す」と率直な思いを寄 せられた。貴重な歴史の証
人、の言葉を若い世代に 受け止めてほしい」として
ほかに、満員で入れ なかった防空壕(ごう)
が焼け落ち、中に転っ ている。 A5判、五百十六
の人物のような死体、 千八百円で販売する。
出撃前に自宅上空を旋 問い合わせは同連合会
回する兄に日の丸の旗 O23(023)560
を振り、涙を流した父親 O1。